



広報 なかわだ

11月の予定

第394号

- 死者のミサ 11月 4日(日)
- 七五三、教会委員会 11月 11日(日)
- 信徒の会 例会 11月 18日(日)
- 子どもと共に捧げるミサ 11月 25日(日)



2012年 11月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1
Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

2012年 11月 4日

Christ as Saviour (El Greco 1600)

『信仰年』を迎え、受けた信仰の恵みを、今一度見つめ直しましょう

主任司祭 小林 陽一



ベネディクト16世教皇様の呼びかけに応じて、「信仰年」の歩みが始まりました。

「信仰年」の期間は、第2バチカン公会議50周年に当たる2012年10月11日に始まり、2013年11月24日の「王であるキリスト」の祭日に終わります。

第2バチカン公会議のヴィジョンは、「全人類の救いの秘跡としての教会像である」と言われています。この公会議が打ち出した方向は、「カトリック教会は救いの共同体ですが、内に閉じられた教会ではなく、全世界に向けて開かれたものである」という考え方でした。第2バチカン公会議により、教会一致運動が始まり、プロテスタント諸教派との対話、交わり、祈りを行う姿勢が生まれ、育っていきました。聖職者中心の

教会という昔ながらの考え方が、信徒も責任を分担し、司祭と信徒が交流を深めながら、社会と共同体に奉仕する教会という考え方に重心が動きました。そして、世界の状況を見ながら、平和、政治、経済、文化、家族に関する現実問題に教会が関心をもつ方向となってきました。2004年に帰天されたヨハネ・パウロ2世教皇様は、生前、第2バチカン公会議で定められた公文書、例えば「教会憲章」「啓示憲章」「現代世界憲章」などを読んで、考えることを勧められました。この機会に読んでみたいですね。また、2012年10月11日の「信仰年」開始の日は、「カトリック教会のカテキズム」発布20周年を記念する日でもあります。「カトリック教会のカテキズム」は、教会の教えを記した本ですが、第2バチカン公会議の教えを元に書かれました。全能の神について、創造主について、キリストについて、聖霊について、秘跡、罪について、十戒について書かれています。手にとってお読みになることをお勧めします。

日本の司教団は、この「信仰年」を迎えるにあたって、信者のみなさんに向けたメッセージ「信仰の恵みを見つめ直す旅に招かれて」を発表しました。カトリック新聞の2012年10月14日号(第4166号)の1面にこの日本司教団のメッセージが掲載されています。「信仰年」を迎え、与えられた信仰の恵みとはどんな恵みだったのか、振り返って、見つめ直し、気が付いたことを大切にいたしましょう。



典礼こよみ(十二月)

日	曜	典 礼	ミ サ	備 考
1	木	諸聖人の祭日	祭日ミサ(10時)	
2	金		初金ミサ(10時)	掃除
3	土		主日ミサ(18時)	
4	日	年間第31主日	主日ミサ(9時) 死者のミサ	
10	土		主日ミサ(18時)	掃除
11	日	年間第32主日	主日ミサ(9時) 七五三祝福	
17	土			掃除
18	日	年間第33主日	主日ミサ(9時)	
21	水	聖マリアの奉獻	祭日ミサ(10時)	
24	土			掃除
25	日	王であるキリスト	子どもと共に捧げるミサ(9時)	聖堂清掃(A,B)、サロン

恒例の中和田バザーが開催されました（10月28日）

去る10月28日（日）ごミサの後、バザーが開催されました。当日は雨の予報が出ていて、ときおりパラパラと降ったりもしましたが、外の店を建物内に退去させるほどではなく、何とかしのぐことができたのは幸せでした。食べ物関係は大繁盛で、ほぼ完売でした。手作り品・新品雑貨・古着販売なども、多くの方が足を運んでくださいました。バザー券の抽選会は、福島さんお手製のガラガラ（とてもすばらしい物でした。来年の再登場を期待します。）を使い、子どもたちに参加してもらって、公正で楽しい催しとなりました。思い返せば、今年のバザーは、実施か否か、というところからのスタートでした。でも、皆様に助けていただきながら、資金集めは勿論のことですが、親睦の場としてのバザーを無事終えることができたことは本当に喜ばしいかぎりです。各担当としてバザー委員会メンバーになって事前に動いてくださった方々、手作り品の奉仕をしてくださった方々、様々なご寄付をしてくださった方々、前日・当日働いてくださった方々、その他、関わってくださった全ての方々に、心からの感謝を申し上げます。

ありがとうございました。

（地区代表：大宮・中村・松下・裕・森脇）



第45回 横浜教区一粒大会に参加して

去る9月22日（土）秋分の日、鎌倉市雪の下清泉小学校にて開催されました。中和田教会からの参加は小林神父様、女性4人の計5人でした。

午前の部は山口道孝神父様の「神様ありがとう、日本再宣教150周年」をテーマとした（内容につきましては一粒会報をご覧ください）講話がありました。昼食は校庭の森にて初秋の樹々をわたる快い風を受け神父様、他教会の方々和三々五々語らいのうちに過ごせました。

講堂に参集した午後の部では梅村司教様、司祭共同司式によるミサ後、列席司祭の方々のご紹介で14時45分閉会となりました。教会の核であられる司祭、修道者の方々に支援する一粒会活動に皆さま方のご協力を謝し御報告とさせていただきます。

（石川 雅子）



『信徒の会』10月度例会より（10月21日）

10月の「信徒の会」は予定通り21日、ミサのあと、14名の参加で行われました。相変わらず参加して下さる方が少なく、もっと多くの皆様の参加があれば、内容も更に豊かになることでしょうと残念です。今後とも気軽な信徒の交わりの場として、皆様のご参加をお願いします。

今回は、委員会報告に盛られていた事項のうち、堅信式、共同回心式、緊急連絡システムなどについて、それぞれの思いを分かち合いました。委員会での審議に参考にさせていただければと思います。

最後に参加者のお一人が言われた事が、共同体の在り方をよく表現していると感じました。すなわち、信仰は、教義とか義務とかのみにとらわれず、それぞれの体験を分かち合うことで、横にエコーしていき、調和のとれた教会の姿（共同体）が育っていくのではないかと。このこと。「信徒の会」がそれに資する場であることを期待したいものです。

（岩崎 好愛）



被災地ボランティアに参加して

年が明けると、東北大震災から2年近くの月日が経ちます。仮設住宅暮らしの方々やまだ見つかっていない行方不明の方々などが多くおられるなど、未だ復興のきざしが見えにくいなか、私の故郷、カリタスジャパンのベースがある岩手県釜石でボランティアの体験をさせていただきました。カリタスのベースは、震災直後から立ち上げられ、沢山のボランティアの方たちが、瓦礫の撤去、生活用品の配布などあらゆる活動を、大変な思いでしてこられたようです。



現在は、被災した方々も一応仮設住宅に落ち着かれ、ボランティアの活動も以前のようにどこから手を付けたらよいのかという状態ではなくなってきています。仮設住宅の集会所などを訪問してのお茶会（おちゃこサロン）、手芸のお手伝い、海岸の清掃、地域の社会福祉協議会の企画への参加など、多岐にわたってきています。ある意味、誰でもボランティアが出来そうな状況です。とは言え、参加を決めた時、私は恐る恐る、みなさんの足を引っ張るのではないかと気になったり、自己満足のためだけではないかと自問しつつ参加しました。

どうにか4日間出来たのは、まったく被災地に関係のない九州や北海道、日本の各地から参加している方々やスタッフの方たちの被災地に対する純粋な思いや情熱、祈りに動かされたからだと思います。その上、思いがけない素晴らしい出会いもあり、被災地のためにというより、私自身が慰めや喜びを頂くというおまけ付きの結果になりました。

現在もベースは毎日活動を続けています。岩手、宮城、福島などのベースでボランティアの募集をしています。参加者には旅費などの支援体制もあるようです。私の体力、年齢でも可能でした。まだまだ長い時間がかかる復興です。常々何か被災地のためにと思っておられる方は、一つの方法として、ぜひ直接、映像ではない被災地に行ってボランティアに参加してみるのはいかがでしょうか。これからも被災地のために、皆様の息の長い支援とお祈りをお願いいたします。

(横塚 郁子)

メモ（問い合わせ、参加申込先）

カリタス釜石ベース

岩手県釜石市大只越町2-4-4 カトリック釜石教会内

T/F 0193-27-9030

Mail kamaishi-vol@gmail.com

受付時間 9:00~15:00

～ 中和田の風 ～

まじめが信条 — 馬が大好き獣医さん —

谷 理恵さん(44才)は日々獣医師として活躍されています。獣医学が専門の谷さんがどのように信仰を捉え、日々のお仕事と向き合っておられるのか、お話を伺いました。

・獣医師になったきっかけは？

子供のとき犬や猫を飼いたかったが集合住宅のため飼えなくて、時には捨て猫(子猫)を拾ってきて飼い主が現れるまでこっそり家で飼っていたこともあった。小学校高学年の時母親に「そんなに動物が好きなら動物病院のお医者さんにでもなれば」と言われ迷うことなくこの道を選んだ。探究心旺盛、いも虫などを観察することが好き、理科好き、負けず嫌いの性格が幸いしてか順調に獣医師になることができた。

・谷さんが洗礼を受けられたきっかけは？

大学を卒業後、スピリチュアル系の本を読んで「この宇宙を動かす絶対的な力、真理がある」という箇所に大きく心を動かされ確信を持ったことがあった。その後間もなくカトリック信者の夫と出会い、その真理を神と呼ぶのだと腑に落ちた。また私たちには原罪があるにもかかわらず、イエス・キリストのおかげでゆるされ「神に祝福され存在している」ということを知り、嬉しさと幸せを感じて受洗することができた。

・好きな聖句

真剣に心から求め努力すれば神は必要なものは与えてくださるという意味で
「求めなさい、そうすれば与えられる」

・信仰が獣医師として仕事をしている時に支えになることがありますか？

具合が悪い動物の検査結果や数字だけを追っかけたり、捉われすぎると本質が分からなくなることがあるが「動物にとって何が一番か」を考えられるようになり、忙しい時も心安らかに働けるのは信じるものがあるからかなと思う。

・お子さん(高校生の息子さん)に伝えたいこと

神様は必ずいつも私たちに呼びかけておられるから、迷った時は頭で考えるのではなく心の耳を澄ませば、きっと答え(あなたがあなたらしく生きられる道)が見つかる。



委員会だより

(文中敬称略)

△10月14日(日) 13名出席▽

■小林神父の話

教会屋根がこのままでは雨漏りする可能性があると指摘を受けたので調査してほしい。→調査(福島)

冥福を祈るミサ→11/6(火)、8(木)、13(火)、15(木)、20(火)、22(木)、29(木)

その他 土曜日、日曜日11/4を除く主日ミサと平日のミサ(小林神父様に直接申し込む)

いずれも午前10時より、ただし参列者がいない場合は追悼の祈りとなる

2013年堅信式へ向けて2011年堅信式の反省会を開き建設的立場から意見を聞き参考としたい→宣教Gを中心とする。

■報告事項

11月スケジュールの確認

11月4日 死者のミサ(今年の死者の追悼ミサ)

11月11日 七五三のお祝い

マイ・タム神父様(藤沢教会・助任司祭)→中和田教会での初ミサ。タム神父様と関わりを持った方(井上さん、子供たち)から話を聞いて来年をめどにお呼びしたい(小林神父)

■10月度月修資料

横浜教区難民移住移動者委員会

(ENCOM)

現在横浜教区の外国籍の信徒数は日本国籍信徒数の2倍になっている。外国人支援のための諸活動に対して募金要請が横浜教区難民移住移動者委員会からあった。→中和田教会としては募金箱を設置して募金をお願いすると共に愛の献金からも協力する。

2013年司教訪問(堅信式) 希望申し込み(10月26日締め切り)

中高生以上になると部活、受験など時間的に難しいこともあり去年は対象を小5、6年へと広げた。去年計7回勉強したが5年生には少し難しいと感じた。(井上)

受堅者がまとまらないのに無理やり小教区単位で堅信式をやるのではなく戸塚ブロック単位で司教様を呼ぶのはどうか(小野)

いずれブロックで連携できるのではないか、打診してみるとよい。該当者5人(岩瀬)

実際に合同で堅信式をやっている地区もある。(小林神父)

10月21日に去年の堅信式について井上さん、石井さんを中心に反省会をする。

反省会の結果を踏まえ上野委員長から戸塚教会委員長に意向を伝える。

■各グループからの報告

●典礼(大宮)

降誕祭に向け“ゆるしの秘跡、共同回心式”について

祈る力をプラスにするためのお話ができる神父様をお呼びしたい。

→検討、準備する時間的余裕がないので12月は小林神父様に共同回心式をお願いする。復活祭に向けては外部の神父様をお呼びする。

できるだけ多くの方が参加するためには共同回心式の意義を知る必要があるのではないかと。小林神父様にはお説教の中などでお話して頂きたい。

●財務(甲斐)

通常通り執行

●宣教(井上・石井)

中高生卒→土曜日の主日ミサ後(2、3

カ月に1回)、連絡は第3日曜ミサ後 泉区民クリスマス→中和田教会として3社から協賛を頂いた。

●建物・営繕(福島)

扇風機購入、消防用設備機器点検終了 庭掃除日時検討

●福祉(中島)

ホームレス支援のお金が不足していることをお知らせしたらすぐに信徒の皆さんからお米やお金の支援があった。

●行事(中村)

バザー委員会の報告。

テント一張り(無地)は和泉葬儀社からレンタルし設置してもらう(甲斐)

●広報(今井)

原稿依頼。

●連絡、討議事項

緊急連絡先カード→

予め運用できる範囲等がある程度定め、利用希望者には注意点を理解して頂き運用する。カードは総務で管理することになるが、必要に応じて総務G以外でもアクセスできるようにする。以上

(次回委員会 11月11日)

■教会からのお知らせ

●洗礼

フランシスコ・アシジ 根本良太さん

10月3日に当教会で受洗されました。おめでとございます。

和泉町(D地区)にお住まいです

(総務グループ)



上野委員長のコラム

『緊急連絡先カード』について

委員会では見出しの『緊急連絡先カード』の教会保管について検討中であります。

人は誰でも予期せぬ災害や事故に遭遇したり、また急病等になったりすることがあります。そのような際に、教会を通じて親族や知人等に連絡して貰うと助かることがあるかも知れません。そのためには予め連絡先を教会に知らせておいていただく必要があります。そこで希望者の方のみ『緊急連絡先カード』にご記入提出していただき教会で保管していただくというものであります。

カード運用に当たっての条件について

カードの運用は次のような条件の下に実施されます。

*カードは個人情報であるので厳正に管理されること。

*緊急連絡以外には絶対に使用されないこと。

*教会に常駐職員はなく神父様も不在の時もあることの現状に鑑み、対応できない場合のあることを了解済みであること。

*登録に際しては、連絡先の方々に教会に登録する旨を御一報いただくこと。

*登録は随時受け付けること。

「追記」

御意見をお寄せ下さい。



以上